

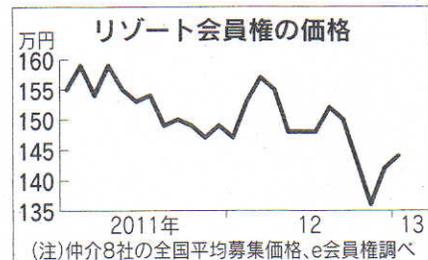
リゾート会員権の取引価格が上向き始めた。昨年末の政権交代で景気回復への期待が高まり、購入が増えている。昨年末時点では割安な物件の取引が中心だったが、現在は価格が高い物件に需要が移り始めている。ただ、上昇傾向が市場全体に広がるかどうかは不透明だ。

リゾートクラブの会員権を購入するとそのクラブの施設に決まった日数分泊まれる権利を得る。リゾートトラストの「エクス」の場合、26泊だ。

仲介大手のe会員権（横浜市）の調査によると、1月のリゾート会員権の全国平均募集価格は144万円と、前月に比べ2万円（1・4%）上昇した。上昇したのは2カ月連続。同社が

年始から取引件数が増えている

リゾート会員権



景気回復期待で上昇

2001年に調査を始めて以来の最安値だった昨年11月に比べ6%高い。

リゾート会員権価格はゴルフ会員権と同様に株価の動きに少し遅れて連動すると言われる。昨年の衆院解散後に株価が上昇し、その後、リゾート会員権の購入

1月の成約数は前年同月の多い(リゾートトラスト)

2倍だ。日本生産性本部のレジャー白書によると、会員制リゾートクラブを運営する企業の11年の売上高は計2640億円と前年比2・6%減。会員権の購入者は個人が7割、法人が3割だ。個人は50〜60歳代が中心で最近では株式投資で得た利益で購入する人も増えている。

ただ、仲介8社が扱う物件のうち1月に値下がりしたのは24件で、値上がりした18件を上回った。山梨県の山中湖や静岡県静岡県の初島など冬に売り注文が増える湖や海沿いの施設は値下がりするケースが多い。

足元で取引が活発になっているのは「景気回復への期待が背景」（e会員権）だ。实体经济が上向き、幅広い価格帯の取引が一段と増えるにはまだ時間がかかりそうだ。（三隅勇氣）

が増えた。現在、同社には売り注文の倍の買い注文が入っている。「震災の影響で減っていた会員の利用回数が増え始めた」（日本リゾートクラブ協会）東京・満の価格帯だ。

「買い注文が多いのはエクス」。「利用できる施設が増えるにはまだ時間がかかりそうだ。」（三隅勇氣）

プライス